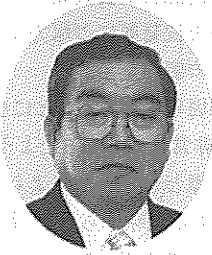




学校風景



劔岳「点の記」

同窓会長 伊東尚志

雄々しく美しい峰々が連なる立山連峰、ひときは厳しい威容を見せる劔岳、自然への畏敬の念が山岳信仰の源として、今日までその時代の中で育まれてきました。

さて、1年の月日は早いものでまた、皆様とお会いできる季節となりました。同窓会員の皆様にはますますご壮健でご活躍のことと思います。

昨年の会報で「劔岳 点の記」の撮影についてお話をしましたが、6月20日より、全国一斉に封切されました。

封切に先立ち行われた特別上映会で、人跡未踏とされた劔岳に果敢に挑んだ測量隊、特殊撮影を行わず地道に

映画制作に取り組んだ撮影隊、それぞれの間人ドラマと美しくも厳しい自然美に感動の連続だったと聞いております。

あらためて、ふるさとを再認識し、頂を仰ぎながら通学した我が母校上市高校を懐かしく思い出していたところであります。

昨今の未曾有の経済危機、新型インフルエンザ等想像を絶する出来事が多発しておりますが、この逆境にこそ建学の精神「勤労・自治・向上」を糧とし、自らの誇りを失うことなく、会員それぞれがご活躍されますことを祈念し、ご挨拶といたします。



近況報告

校長 瀬川 寿

会員の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本校の教育の充実・発展に多大なご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年10月、同窓会関東支部総会に出席させていただいた折、上市町教育委員会三浦知徳氏より「信念の農業技士杉谷文之氏」と題した講演を聞くことができました。氏が県立上市農学校の卒業生であり、日本一の銘柄米「コシヒカリ」が今日あるのはその彼の功績によるものであることを知りました。偉大な先輩を又一人知ることができ感激いたしました。

その功績を生み出した元は、欠陥があってもそれをよく見極め克服できるという先見の明と、克服するためのたゆまぬ努力をされたことにあります。

子供達の教育についても同じようなことが言えるのではないのでしょうか。子供達一人ひとりの可能性を見つけてやり、多少不十分な点はあってもそれは今後子供達が

自分で克服できるものであることを信じ、その克服の努力を手助けしてやるのが我々教師の仕事であるという思いを再確認いたしました。

さて、今年も生徒たちは頑張っています。スポーツ関係では、6月初めの県高校総体で、ボクシング、弓道、空手が北信越大会、全国大会への出場権を得るなど活躍をしています。また、丸山運動公園で行われた本校の伝統あるマラソン大会では、全生徒が大変に頑張り、ほぼ全員が完走しました。

ところで、全国で感染が確認されている新型インフルエンザが、本校の特徴的行事である2年生の進路研修旅行にも影響を与え、本校生徒が発症すれば中止せざるを得なくなるのではないかと大変心配しましたが、バスに全員分のマスクと手の消毒用アルコールを積み込んで、7月8日から10日まで予定通り実施することができ一安心しています。しかし、秋から流行も予測され、本校への影響が懸念されるどころです。

県高校野球、甲子園の県予選では、本校は残念ながら、雨が降り中断をする悪天候の中、頑張りましたが敗退してしまいました。今後の活躍を期待したいと思います。

今後とも、本校への変わらぬご支援をお願いいたします。



同窓会(総会)に想う

教頭 森山 礼子

卒業生が同窓会(総会)に出席したいと思うのは、第一に、年に一度、先輩、同輩、後輩が集まる中で、しばし現在の境遇を忘れて、それぞれの学生時代の尽きぬ思い出を語り合い、旧交を温め、同窓生ならではの助け合い、励まし合いができること。第二は、母校の受け継いできた伝統や誇りを、在校生がどのように発展させようとしているのか、進学や就職の状況はどうか、部活動の活躍状況はどうかなど、母校の現状に対する社会的評価はどんな具合なのか等を知りたいこと。これら二つの中に、ことばでは言い表せぬ喜びと楽しみがあり、同窓生の心は現在の社会的地位や経済状況の如何にかかわらず、何のわだかまりもなく純粋に通じ合えるからだと思います。

学校の教育活動を支援して下さる団体には、通常PTAと同窓会等がありますが、とくに同窓会にあっては、在校生の精神的依存度は大きく、様々な影響を受け

るものです。それゆえに、同窓会が会員相互の親睦を厚くし、社会的に教養を高め母校発展にご尽力くださることは、教職員一同の心からの願いです。

本校は、来年には創立90周年を迎えることになります。創立当時、この地の文化は非常に低くあったように見え、北陸の文化の「向上」を目標として、口先よりも実行が有効、働いて仕事を立派にやる意味から「勤労」。また、時勢にともない、教えられるままでは後れるばかり。進んで自らを治め、自治的生活をしなければならないと考え「自治」。「勤労・自治」をもって北陸の文化を「向上」せしめようという校訓は、現在も上市高校の学ぶ者一人ひとりの心の中に、そして校舎のすべてに滲み込んでいます。

母校のために何を築いてきたか、また、母校で学ぶ後輩たちに何を伝えて残さなければならないか、上市高校に縁をもつすべての者が、考えていかなければならないことだと思います。皆様が楽しく過ごされ、本当に出席してよかったと思われるような総会になりますよう念願し、あわせて、上市高校の同窓会のご発展と皆様のご活躍とご健勝を祈念いたします。